

公益財団法人水島地域環境再生財団
令和 3 (2021) 年度 事業報告

総括

本年度は、研究員を1名増員し資料館づくりに向けて構想づくりをスタートさせた。倉敷公害訴訟和解成立から25年である今年、岡山県立記録資料館から「きろくるゼミナール」での講演依頼、紀要執筆依頼、所蔵資料展「昭和の公害対策」への共催展示の呼びかけがあり、水島をめぐる歴史的資料の保存・整理活用の意義を改めて発信する機会となった。

財政的には講師活動が強化されたが、赤字の体質を改善するには至らなかった。みずしま財団を持続可能な組織にしていくために財政面に早急な対応が必要である。上記、資料館活動と関連してわかりやすく活動を伝えられるよう、年度末にホームページをリニューアルした。広報活動ならびに財政面の強化を次年度につなぐ。

公益目的事業 1

(1) 公害地域の再生・地域づくりに関わる調査研究および活動

「海ごみ」に関する分野ではこれまでの蓄積を生かして、岡山県や企業の委託事業で調査活動を実施した。発生源対策に向けた、知見を積み重ねた。地球環境基金の助成を得て、公害資料館設立に向けての調査や活動を展開した。成果として作成した「水島メモリーズ」が好評で、事務所訪問者が増えた。

①岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度評価分析と活用事業

事業内容	日本共産党岡山県議団の政務調査費事業として「岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」の評価・分析を行い、報告書を作成した。(2010年から実施継続) 5/10 須増県議と打ち合わせ 7/27 岡山県新エネルギー・温暖化対策室との懇談
-------------	---

②海ごみの発生源対策としての、内陸河川での回収処理体制確立に向けた基礎調査

事業内容	岡山県「海岸漂着ごみ回収・調査事業」を受託し、鹿久居島(備前市)、牛窓(瀬戸内市)、下津井(倉敷市)の3海岸で漂着ごみの実態把握調査を実施した。全体で約670kgのごみが確認された。2020年度の実績との比較などをまとめた実施報告書を作成した。 8/27 牛窓ごみ調査 10/27 鹿久居島ごみ調査 12/10 下津井ごみ調査 笹が瀬川調査 岡山県「漂着ごみ回収・調査事業」を受託し、瀬戸内オーシャンズX(日本財団と瀬戸内4県が連携)の一環として開催された笹ヶ瀬川河川敷における一斉清掃活動において回収されたごみの分別作業・性状調査及び、廃棄物処理業者への発注を担当した。約3.2t(約28m ³)のごみが回収された。 2022/3/23 河口部に散乱する大量の漂着ごみ 海上災害防止機材を用いた一掃作戦 in 笹ヶ瀬川河口 日本財団の委託、香川県本津川及び岡山県浅口市里見川の調査 瀬戸内オーシャンズXの委託事業として、香川県本津川及び岡山県里見川における河川ごみの目視調査及び回収調査を実施した。調査結果を取りまとめて提出した。
-------------	--

<p>4/22-23 本津川目視調査</p> <p>5/3 里見川目視調査</p> <p>5/13-14 本津川ごみ回収調査</p> <p>海ごみフォーラム</p> <p>岡山県「海と川と山、環境と文化をつなぐ美化意識啓発業務（全県民の海ごみフォーラム）」事業を受託し、「瀬戸内海 海ごみフォーラム in おかやま」の企画・運営を担当した。参加者約 170 名。当日の様子をオンライン視聴できるようにするとともに、フォーラムの概要をまとめた報告書を作成した。</p> <p>12/19 瀬戸内海 海ごみフォーラム in おかやま開催</p>
--

③資料保存・整理・活用・資料館づくり

<p>事業内容</p>	<p><公害資料館づくり></p> <p>地球環境基金の助成金を得て、「コンビナート地域における SDGs の実現を目指した協働の取り組み～大気汚染公害資料館設立に向けて～」事業をおこなった。具体的には下記の通り</p> <p>①患者ヒアリング 公害患者会 10 人のヒアリングを行った。</p> <p>②みずしま地域カフェ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日および会場</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 回</td> <td>8 月 23 日、ニューリンデン（喫茶店）</td> <td>郷土史家であった喫茶店の初代経営者の活動などについて、ご子息である現経営者から話を聞いた。また、初代経営者の遺した収集資料をみせていただき、その保存や活用等についても話し合った。</td> </tr> <tr> <td>第 2 回</td> <td>10 月 26 日、岡山朝鮮初中級学校</td> <td>水島が岡山県内最大の在日コリアン居住地域であることから、水島にある県内唯一の朝鮮学校を訪問し、校長から話を聞いた。また校内の見学も実施した。</td> </tr> <tr> <td>第 3 回</td> <td>10 月 28 日、常盤町集会所（水島臨海鉄道高架下）</td> <td>水島が工業地帯として発展する基盤となった水島臨海鉄道の歴史について、OB と現役職員から話を聞いた。また貨物ターミナルの見学も実施した。</td> </tr> </tbody> </table> <p>③水島メモリーズの発行</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>ニューリンデン編</td> <td>2021 年 11 月</td> <td>5000 部</td> </tr> <tr> <td>朝鮮学校編</td> <td>2022 年 2 月</td> <td>4000 部</td> </tr> <tr> <td>臨海鉄道編</td> <td>2022 年 3 月</td> <td>5000 部</td> </tr> </tbody> </table> <p>図書館・公民館・観光案内所・倉敷市駅などで配布</p> <p>R S K ラジオ出演（2022 年 1 月 10 日、3 月 28 日 あもーれマッターノ）</p> <p>④『地域の価値をつくる』出版に向けて（東信堂、2022 年 12 月刊行予定）</p> <p>みずしま財団が取り組んできたことをまとめて、学術書として出版する。2021 年度はその準備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本環境教育学会第 31 回年次大会(8 月 23 日)自由論題発表「公害地域再生と環境教育—みずしま財団と SDGs—」（林） ・環境社会学会 シリーズ環境社会学講座（仮称）第 1 巻 なぜ公害は続くのか？—潜在・散在・長期化する被害（藤川賢・友澤悠季編） 「公害地域再生が目指すもの」執筆(林) ・環境アセスメント学会第 20 回大会一般研究発表(9 月 3 日)「市民からの持続可能性アセスメン 		開催日および会場	概要	第 1 回	8 月 23 日、ニューリンデン（喫茶店）	郷土史家であった喫茶店の初代経営者の活動などについて、ご子息である現経営者から話を聞いた。また、初代経営者の遺した収集資料をみせていただき、その保存や活用等についても話し合った。	第 2 回	10 月 26 日、岡山朝鮮初中級学校	水島が岡山県内最大の在日コリアン居住地域であることから、水島にある県内唯一の朝鮮学校を訪問し、校長から話を聞いた。また校内の見学も実施した。	第 3 回	10 月 28 日、常盤町集会所（水島臨海鉄道高架下）	水島が工業地帯として発展する基盤となった水島臨海鉄道の歴史について、OB と現役職員から話を聞いた。また貨物ターミナルの見学も実施した。	ニューリンデン編	2021 年 11 月	5000 部	朝鮮学校編	2022 年 2 月	4000 部	臨海鉄道編	2022 年 3 月	5000 部
	開催日および会場	概要																				
第 1 回	8 月 23 日、ニューリンデン（喫茶店）	郷土史家であった喫茶店の初代経営者の活動などについて、ご子息である現経営者から話を聞いた。また、初代経営者の遺した収集資料をみせていただき、その保存や活用等についても話し合った。																				
第 2 回	10 月 26 日、岡山朝鮮初中級学校	水島が岡山県内最大の在日コリアン居住地域であることから、水島にある県内唯一の朝鮮学校を訪問し、校長から話を聞いた。また校内の見学も実施した。																				
第 3 回	10 月 28 日、常盤町集会所（水島臨海鉄道高架下）	水島が工業地帯として発展する基盤となった水島臨海鉄道の歴史について、OB と現役職員から話を聞いた。また貨物ターミナルの見学も実施した。																				
ニューリンデン編	2021 年 11 月	5000 部																				
朝鮮学校編	2022 年 2 月	4000 部																				
臨海鉄道編	2022 年 3 月	5000 部																				

<p>ト ～水島再生プランの自主アセスの取組から～」（藤原）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県立記録資料館令和3年度さろくる岡山ゼミナール第5回(12月5日)「公害からの学びを次世代に語りつなぐ」(藤原) ・除本理史 / 塩飽敏史「瀬戸内海における海ごみ問題と政策形成：水島地域環境再生財団の取り組みに着目して」大阪市立大学経営学会『経営研究』72巻3号、2021年11月 <p>⑤教材作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォトランゲージ用教材(『水島の公害と未来』作成 5000部) ・フィールドワーク動画「水島バーチャルツアー」 https://www.youtube.com/watch?v=rvq_g5Ievew <p>⑥展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県立記録資料館「岡山県の公害」企画展 共催として企画・展示協力 <p>⑦資料整理(棚の整備、目録作成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉敷市公害患者と家族の会資料 目録作成(290点) ・あさがお会館及び患者会事務所に棚を購入・搬入、資料整理資材を購入 <p>⑧公害資料館構想員会の開催(2月16日)</p> <p><公害資料館ネットワーク></p> <p>第8回目となる公害資料館連携フォーラム in 長崎開催に実行委員として協力した。資料館づくりに向けた関係者との意見交流を進めることができた。</p> <p>12/10-12 公害資料館フォーラム in 長崎</p> <p>公害資料館ネットワーク幹事(藤原・林)として、公害資料館ネットワーク事業に参画した。林が編者となり公害入門書『公害スタディーズ』(ころから、2021年10月)を出版した。</p> <p>公開シンポジウム「市民が作る・市民が使うアーカイブズ—アクセスをめぐる課題」(2021年10月10日)オンライン開催、公害経験の継承に向けた公害資料館の社会的機能の研究(日本学術振興会 科学研究費助成事業 研究代表者:清水万由子(龍谷大学))の一員(林)としてオンラインシンポジウム「公害資料館がはたす役割と未来」(2022年1月8日)オンラインに協力、発表を行った。</p>

④水島地域のまちづくりと関連させた八間川調査

<p>事業内容</p> <p>倉敷市環境学習センターとの連携事業として八間川調査を実施した。実施にあたり、一般参加者は募集せず、関係者のみで、データの蓄積の継続を目的として実施した。</p> <p>6/26 第69回八間川調査</p> <p>調査研究活動等で得られた知見、各種行政の審議会・委員会等の場で意見や提言をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国環境パートナーシップオフィス(EPO ちゅうごく)運営委員会 ・岡山県河川整備検討委員会 ・岡山県環境学習協働推進広場(おかやまかんきょうひろば)運営委員会 ・おかやま環境教育ミーティング実行委員 ・岡山県環境審議会 ・倉敷市生物多様性審議会 ・岡山県環境マネジメントシステム外部評価委員会

(2) 公害経験や公害地域の再生・地域づくりに関わる情報交流事業

国・地方自治体が、ともに取り組みを重視するESD、SDGsの普及啓発事業を当財団の実施課題として検討を進め、作成した「2030年の水島、こうなったらいいな」の自己評価の仕組みであるアセスメント方法書

を作成した。

①成果を活かした学会発表

事業内容	<ul style="list-style-type: none">・日本環境教育学会第31回年次大会(8月23日)自由論題発表「公害地域再生と環境教育—みずしま財団とSDGs—」(林美帆研究員)・環境アセスメント学会第20回大会「市民からの持続可能性アセスメント～水島再生プランの自主アセスの取組から～」(傘木宏夫(NPO地域づくり工房)、藤原園子、塩飽敏史)
------	--

②公害地域再生・地域づくりに関わる市民活動団体等への運営支援・連携

事業内容	<p>水島を中心に岡山、倉敷地域で活動する市民団体・グループの活動を支援し、環境保全・地域づくりの活動のレベルアップを目指した取り組みを進めた。昨年度に引き続き、水島商店街の空きスペースを活用して地域のにぎわいづくりを目指す活動(ミズシマ・パークマネジメント・ラボ)と大学生の学びの活動をつなげてイベントを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none">・水島まちづくり協議会・STOP 温暖化くらしき実行委員会・倉敷・総社温暖化対策協議会・おかやま環境教育ミーティング実行委員会・(一社)高梁川流域学校・水島おかみさん会(水島お雛めぐり)・ミズシマ・パークマネジメント・ラボ
------	--

③ESD、SDGsの実現に向けた普及・啓発事業

事業内容	<p>SDGsをキーワードに、持続可能な地域を目指した取り組みを進めることができた。</p> <p>環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会</p> <p>事務局として、(公財)福武文化振興財団助成を受けて、倉敷古城池高校の生徒が持続可能な社会の実現に向けてバイオマスエネルギー関連施設の見学を行い、その後真庭高校の生徒と「持続可能な地域づくり」について意見交換する機会を7/30に開催した。成果として『高校生と考える私のまちの防災』小冊子、みずしまスタイル11号を発行した。</p> <p>倉敷市環境学習センター登録団体連携講座「人と自然との関わりを考える」インタープリター養成講座(講師:辻信行氏(三宅商店店主)、田賀辰也氏(The Interpreters))10/30に開催した。</p>
------	---

④たより、年次報告書の定期発行、内容の充実

事業内容	<p>たよりを継続して発行。たよりの発送に合わせて、賛助会費の納入を呼び掛けた。</p> <p>たより103号、104号、105号、106号を発行した。</p>
------	--

⑤HP、SNS、マスメディア等による情報発信の充実

事業内容	<p>みずしま財団の活動を周知するため、FMくらしき「みずしま財団エコらぼ Friday」(毎週金曜日)、ブログ、facebook等による情報発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none">・FMくらしき「みずしま財団エコらぼ Friday」毎週金曜15:45~16:00 <p>月1回を岡田評議員が担当に加え、今年度から中平評議員が月1回、みずしま滞在型環境学</p>
------	---

<p>習コンソーシアム副座長古川氏と倉敷古城池高校生が月1回担当し、活動を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルメディア（ブログ、facebook、Twitter）を活用し、効果的な情報発信を目指した。 <p>Instagramの開設、ホームページ改修</p> <p>山陽新聞 2021年12月6日一面記事「吉備を環る 第3部高梁川 ①風化する公害」</p> <p>熊本日日新聞 2022年1月25日「分断を超えて 公害資料館ネットワーク事務局林美帆さん 教訓未来へ対話と学びを」</p> <p>山陽新聞 2022年3月11日「水島の魅力発掘を/みずしま財団、資料館設立へ「地域カフェ」/朝鮮学校、老舗喫茶店…施設や店舗住民と巡る」</p> <p>R S K ラジオ出演（2022年1月10日、3月28日 あもーれマッターリーノ）林</p>

(3) 「滞在型環境学習プログラム」の実施と保健活動等支援事業

2018年に立ち上げた「みずしま滞在型環境学習コンソーシアム」の活動では、モデルツアーの実施や研修受け入れは大幅減となった。昨年度構築したオンラインによる学びの方法を活かして、水島学講座（観光編）や、コンソーシアムシンポジウム、高梁川流域高校生交流会などは、オンラインと会場参加と同時に行う、ハイブリッド形式で開催することができた。高梁川流域高校生交流は通生調査を一緒に行うことが実現できた。

環境保健分野は倉敷市の委託事業として呼吸リハビリ講習会を10回開催し、本問題の地域への啓発、早期発見・治療に向けた取り組みを進めた。

①滞在型環境学習プログラムの実現に向けたモデルツアーの実施

<p>事業内容</p>	<p>みずしま滞在型環境学習コンソーシアムの事務局として、運営体制、具体的なプログラム等について話し合う体制作り検討会を開催した。9/17～19のモデルツアープログラムの実施にあたっては、岡山大学実践型社会連携授業と連携した。古城池高校サイエンス部を主体とした、児島通生海岸における生き物調査、海ごみ調査をサポートした。</p> <p><会議・シンポジウム></p> <p>5/31、7/13、2022/3/30 みずしま滞在型環境学習コンソーシアム体制づくり検討会</p> <p>2022/2/19 みずしま滞在型環境学習コンソーシアムシンポジウム開催</p> <p><研修受入></p> <p>9/16-18 モデルツアープログラム（岡山大学実践型社会連携授業と連携）</p> <p>10/21 龍谷大</p> <p>10/25 北九州市立大</p> <p>11/27 JICA 中国エクスカーションツアー</p> <p><講座・交流会等></p> <p>水島学講座（観光編）の実施</p> <p>赤澤 雅弘さん（玉島商工会議所産業観光アドバイザー）「産業観光と水島」（1/29）</p> <p>小田切聡さん（(株)インプリージョン）「観光を通じて地域の価値を高める」（2/2）</p> <p>11/7 高校生流域交流会@オンライン テーマ生物多様性</p> <p>4/25、6/26、7/24、11/3、12/12、2022/3/29 通生海岸調査の協力（古城池高校生物園芸部）</p>
--------------------	--

②小・中・高・大学、生涯学習等 講師派遣

事業内容	<p>高校・大学の授業や、公民館の講座等へ財団の職員を講師として派遣し、環境学習の提供、市民や学生など多様な世代が学ぶ機会を提供した（48件）。環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会として、水島地域内の小学校への出前教室プログラムを学校へ呼びかけた。</p> <p>林美帆研究員が、非常勤講師として授業を行った。</p> <p>大阪産業大学（前期） 佛教大学（通信学部・前期/歴史学部・後期）</p> <p>4/26 岡山大学（水島の公害について）（塩飽） 5/10 里庄町環境衛生協議会総会（海ごみ）（塩飽） 6/5 岡山県教職員組合第71次県教研1次集会「公害・環境問題と食教育」（藤原） 6/11 倉敷青年会議所公開例会（SDGs）（塩飽） 6/11 岡山市立高松市中学校3年生オンライン授業（SDGs）（藤原） 6/14 倉敷市立第四福田小学校4年生（SDGsとごみ問題）（中平氏） 6/22、30 倉敷市立水島小学校3年生（八間川の生き物）（田賀氏、塩飽） 6/29 岡山市立西小学校5年生（フードマイレージ買い物ゲーム）（藤原） 7/6 倉敷市立第一福田小学校6年生（SDGs）（塩飽） 7/6 岡山市立津島小学校5年生（フードマイレージ買い物ゲーム）（藤原） 7/7 同上 7/8 倉敷市立第四福田小学校6年生（SDGs）（中平氏） 7/14 倉敷市立水島中学校（水島の公害とSDGsについて）（塩飽） 7/16 山陽学園大学（SDGs）（塩飽） 7/20 岡山市立興除公民館「夏休み子どもチャレンジクラブ『私たちの暮らしを考えよう～フードマイレージ買い物ゲーム～』」（藤原） 7/26 岡山県立倉敷南高等学校ラーニングカフェ（キャリア）（塩飽） 7/28 児島公民館講座（海ごみ）（塩飽） 8/2 岡山市立芳田公民館（消費生活センター講座）（フードマイレージ買い物ゲーム）（藤原） 8/3 岡山市市立妹尾公民館（消費生活センター講座）（フードマイレージ買い物ゲーム）（藤原） 8/6 倉敷市福田公民館フードマイレージ買い物ゲーム講座（藤原） 8/10 岡山市西大寺公民館（消費生活センター講座）（フードマイレージ買い物ゲーム）（藤原） 8/12 岡山市立藤田公民館（消費生活センター講座）（フードマイレージ買い物ゲーム）（藤原） 8/17 クルクルセンター講座（海ごみ）（塩飽） 8/26 岡山市立京山公民館（消費生活センター講座）（フードマイレージ買い物ゲーム）（藤原） 9/8 倉敷市立第一福田小学校教育講演会（海ごみ）（塩飽） 9/10 吉備中央町大和小学校オンライン学習（海ごみ）（塩飽） 9/19 みんなで海をキレイにしよう！（POLA&海と日本プロジェクト（日本財団））（海ごみ）（塩飽） 9/25 市民のための環境講座（主催：おかやま環境ネットワーク）（循環型社会）（塩飽） 10/2 おひさまネットワーク講演会（海ごみ）（塩飽） 10/18 岡山県立倉敷工業高校出前授業（SDGs）（塩飽） 10/21 滋賀県立大学「公害問題史と現在の環境活動」（林） 10/22 倉敷市立第一福田小学校オンライン学習（水島の公害とSDGs）（塩飽） 10/25 廃棄物資源循環学会で報告（海ごみ）（塩飽） 11/10 倉敷市立第五福田小学校（八間川）（塩飽）</p>
------	--

11/14	倉敷医療生協水島支部講座（海ごみ）（塩飽）
11/22	倉敷医療生協新見支部講座（海ごみ）（塩飽）
11/28	おかやま環境ネットワーク設立 20 周年記念シンポジウムパネリスト（循環型社会）（塩飽）
11/30	新日本婦人の会あかいわ支部学習会（海ごみ）（塩飽）
12/2	岡輝公民館講座（海ごみ）（塩飽）
12/5	岡山県立記録資料館「公害からの学びを次世代に語りつなぐ」（藤原）
12/11	高梁川志塾「ローカル SDGs 編」（水島の公害と SDGs）（塩飽）
12/12	SDGs 海と川を守ろうセミナー（主催：環境省）（海ごみ）（塩飽）
12/18	「語り合おう！『MINAMATA』が伝えること」岡山市立西大寺公民館（林）
12/21	新日本婦人の会倉敷支部学習会（海ごみ）（塩飽）
2022/2/22	中四国農政局研修会（海ごみ）（塩飽）
2022/2/25	JA 女性協議会総会（海ごみ）（塩飽）
2022/3/17	倉敷ロータリークラブ例会（海ごみ）（塩飽）

③大学・企業向け視察研修

事業内容	<p>亀島山地下工場跡をテーマとした視察研修、医療従事者、他企業等の視察研修は下記の通りであった。オンライン研修実施に合わせてバーチャルフィールドワークの動画を作成した。</p> <p>7/8 岡山市立高島中学校亀島山地下工場跡見学受入</p> <p>9/23 金沢大学亀島山地下工場跡見学受入</p> <p>10/7 倉敷医療生活協同組合 3 年目職員研修の受入</p> <p>11/16 新見市環境衛生協議会</p> <p>12/13 藤クリーン新入職員研修</p> <p>2022/1/12 岡山県民医連初期事務研修オンライン</p>
------	--

④人々が健康的に暮らせる地域づくり事業

・ COPD（慢性閉塞性肺疾患）の早期発見・治療を目指す地域連携のしくみづくり

事業内容	<p>COPD の早期発見・治療を目指す地域連携の取り組みとして、呼吸リハビリ講座「息切れとうまく付き合うコツ、教えます」（倉敷市委託事業）を水島地域内 10 カ所で開催し、のべ 80 名が参加した。くらしき COPD ネットワークと連携し、理学療法士 5 名、作業療法士 1 名が講師となって実施した。環境再生保全機構呼吸ケア・リハビリテーションスタッフ養成研修を修了した方の新たな協力が 2 名あり、講師層が広がった。新型コロナウイルス対策に十分に考慮して行った。</p>				
	会場	実施日	時間	講師	参加人数
	連島公民館	10/09（土）	13：30～15：00	藤原耕三氏	7 名
	水島愛あいサロン	10/17（日）	10：00～11：30	藤原耕三氏	7 名
	福田公民館	10/19（火）	10：00～11：30	片山章子氏	5 名
	連島公民館	10/24（日）	10：00～11：30	萩山明和氏	9 名
	水島憩いの家	10/29（金）	10：00～11：00	片山章子氏	5 名
	広江憩いの家	11/03（水・祝）	14：00～15：00	萩山明和氏	13 名
	塩生保健の家	11/07（日）	10：00～11：30	江草加南子氏 藤原耕三氏	11 名

水島愛あいサロン	11/14 (日)	10:00～11:30	佐藤雅昭氏	5名
呼松保健の家	11/19 (金)	10:30～12:00	片山章子氏	6名
東川町公民館	12/01 (水)	10:00～11:00	片山章子氏	12名
10会場				80名

講師所属・肩書

- ・ 片山章子氏：理学療法士 倉敷医療生活協同組合健康事業部、くらしき COPD ネットワーク
- ・ 萩山明和氏：理学療法士 岡山大学病院 総合リハビリテーション部主任、環境再生保全機構呼吸ケア・リハビリテーション指導者養成研修修了生
- ・ 佐藤雅昭氏：理学療法士 倉敷医療生活協同組合 コープリハビリテーション病院リハビリテーション科長、くらしき COPD ネットワーク
- ・ 藤原耕三氏：理学療法士 医療法人誠和会倉敷第一病院主任、環境再生保全機構呼吸ケア・リハビリテーション指導者養成研修修了生、くらしき COPD ネットワーク
- ・ 江草加南子氏：理学療法士 医療法人誠和会倉敷第一病院、環境再生保全機構呼吸ケア・リハビリテーションスタッフ養成研修受講生
- ・ 井上恭子氏：作業療法士 医療法人誠和会倉敷第一病院、環境再生保全機構呼吸ケア・リハビリテーションスタッフ養成研修受講生

公害健康被害補償法被認定者の療養生活に係る先行調査業務

環境省の表記業務を（公財）公害地域再生センターが受託し、倉敷実施部分について委託を受け、被認定者7名、医療従事者として水島協同病院里見和彦医師、地方公共団体として倉敷市医療給付課のヒアリングを行った。ヒアリング実施対象者の選定、実施、記録作成を担当した。

組織運営

監査：5月21日に前年度監査を行った。

理事会・評議員会：理事会を5回、評議員会を2回行った。

6/13 第50回理事会

6/27 第22回評議員会

9/4 第51回理事会

11/14 第52回理事会

2022/2/12 第53回理事会

3/6 第54回理事会

3/21 第23回評議員会

受取会費・寄附

受取会費は1,240,000円であった。

受取寄附は343,080円であった。

執筆依頼

- ・ 公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター「学びと協働による持続可能な地域づくり」 「共に学び、地域を

つくる ―実践者が描く協働の姿―（2022年3月、持続可能な地域づくりを推進する学びの共同体構築支援事業）

- ・ 岡山県立記録資料館 紀要 第17号 【動向】「倉敷公害訴訟和解から25年を迎えて～倉敷市水島における環境再生のまちづくりの報告～」(2022年3月発行)

外部委員

- ・ 中国環境パートナーシップオフィス（EPO ちゅうごく）運営委員（2017年～）
- ・ 岡山県河川整備検討委員会委員（2013年～）
- ・ 岡山県環境学習協働推進広場（おかやまかんきょうひろば）運営委員（2014年～）
- ・ 岡山県環境審議会廃棄物部会委員（2012年～）
- ・ 岡山県環境マネジメントシステム外部評価会委員
- ・ 倉敷市生物多様性審議会審議員（2018年～）
- ・ STOP 温暖化くらしき実行委員会委員
- ・ 公益財団法人 公害地域再生センター（あおぞら財団）評議員（2019年～）
- ・ 公害資料館ネットワーク幹事
- ・ 倉敷市古城池高校水島プラットホーム委員
- ・ 日本アーカイブズ学会委員

／以上